



One by heart ~こころ一つに~



今年の体育大会のスローガンが決定し、先週の全体練習の時に生徒会から紹介がありました。それは、『**One by heart ~こころ一つに~**』です。

全体練習の時、体育委員の後藤さんから全体への呼びかけがありました。「周りの3年生に体育大会のことを聞くとワクワクするという人がいました。練習は暑くて大変だけど、スローガンの“One by heart ~こころは一つ~の通り、最後までワクワク感を持ちながらもみんなでこころを一つに頑張りましょう」と。すばらしい呼びかけだったと思います。

では、こころを一つにするとはどういうことでしょうか。どうすればいいと思いますか？

体育大会には個人種目(50M走や100M走など)、団体種目(リレーや学年種目)、そして今年は団体演技(3年生のソーラン)があります。個人種目は勝敗がはっきりわかるので手を抜く人は少ないです。団体種目も自分のクラスが勝つためにみんな必死になります。これらは勝ちたいという気持ちでこころが一つになります。団体演技は少し違います。完成度の高い演技を目指し、見てくれている人に感動を与えたい。そんな気持ちの人が増えれば増えるほどより素晴らしい演技になり、達成感も大きくなります。得点を競う勝敗ではなく、自分の気持ちに勝てるかどうかの戦いです。その真剣さが表情や動き、声に現れ、人に感動を与えるのです。



そういう意味で校歌やラジオ体操もみんなのこころを一つにする大切な種目になります。自分ひとりくらい手を抜いても大丈夫と思う人もいます。周りに合わせて力の出し方を変えてしまう人もいます。体育大会でこころを一つにするということは係の仕事を完璧に行うこと、自分以外の仲間を懸命に応援

すること、校歌やラジオ体操のように一人が目立つわけではないけれど、みんなが全力でやり切ることこころを合わせることです。いよいよ今週の金曜日が本番です。予行練習に本番のつもりで臨み、当日を迎えてほしいと思います。では、最後にみんなに以下の詩を送ります。

真剣だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。
いい加減だと言いつけが出る。
本気でするから「悔しい」を知ることができる。
本気でするから「楽しい」を知ることができる。

何事にも本気でやることの大切さを教えてくれている詩の一節です。
さあ、みんなも本気で体育大会に臨み、本当の楽しさ、面白さを知ってほしい。